

松戸市環境未来会議 2024

第3回 ゼロカーボンに向けた取り組みを検討する（消費編）



JAPAN  
SUSTAINABLE LABELS  
ASSOCIATION

# 松戸市環境未来会議

## 消費に関する取り組み

### ～エシカル消費とサステナブル・ライフスタイル～

一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会

代表理事 山口真奈美

# 衣食住と様々な製品・アイテム

起床



朝食



着替え



衣類

会社  
学校



日用  
品

休み時間



遊具

石鹸・  
化粧品  
繊維製  
品



食品



昼食

おやつ・  
茶



就寝



絵本

寝具

食器洗い・洗濯



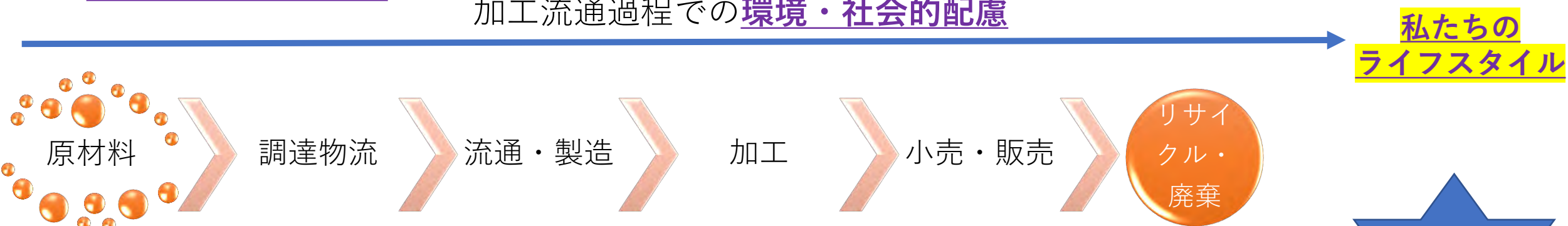
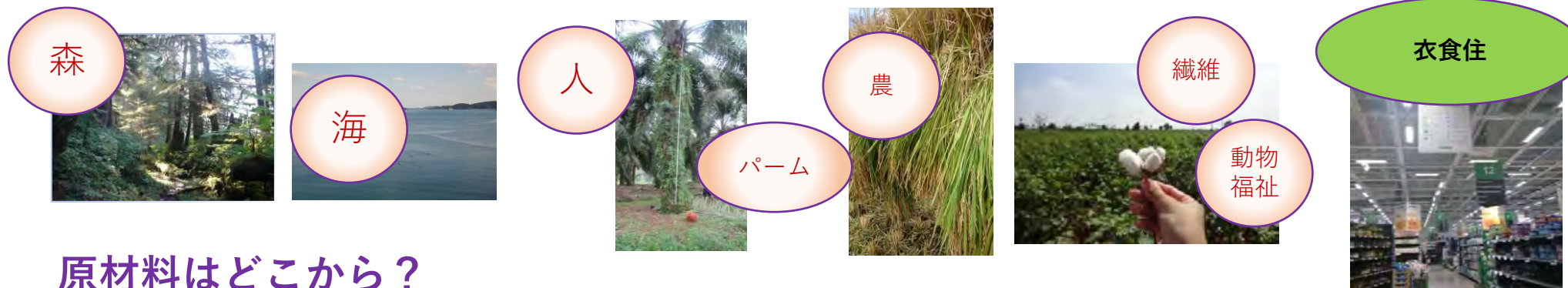
夕食



入浴



# 私たちの生活を支える「製品」はどこから？どこへ？



「製品・サービス」にも、どんなストーリーがあるのか？

生産・消費・廃棄と私たちの生活との接点を考えてみる

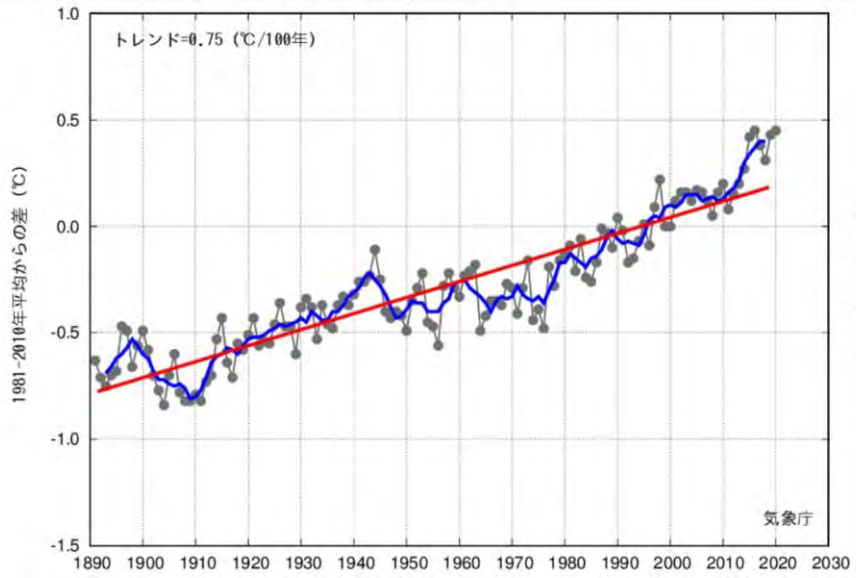


資源の適切な循環



## 2015年以降の平均気温の上昇傾向が顕著

＜世界の年平均気温偏差：1981～2010年平均気温との偏差＞



偏差値が大きかった年  
(1～5位)

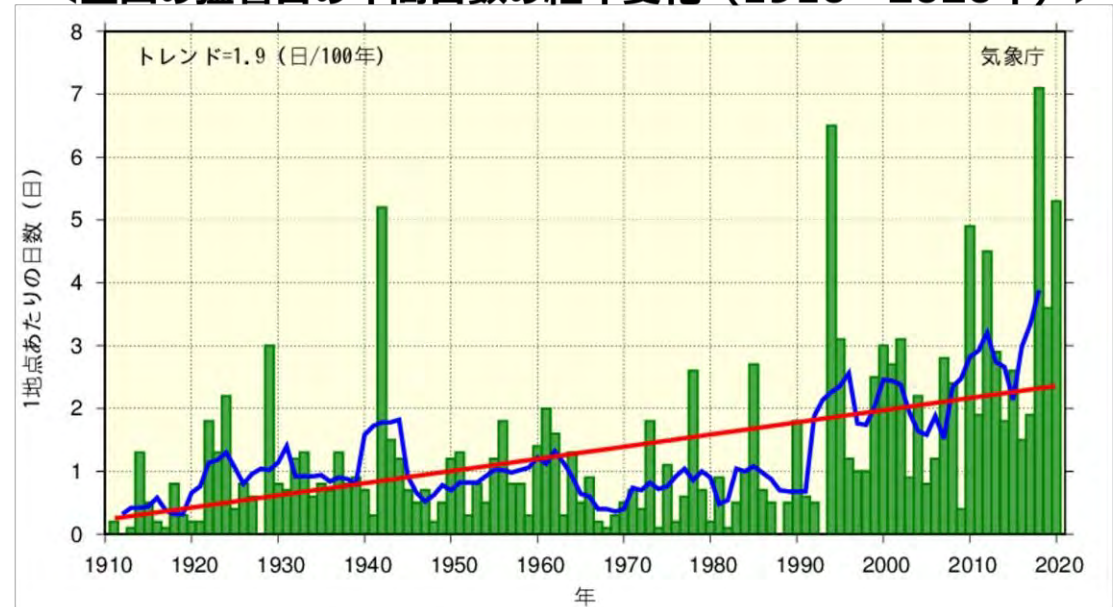
- ①2020年・2016年 (+0.45°C)
- ③2019年 (0.43°C)
- ④2015年 (0.42°C)
- ⑤2017年 (0.38°C)

細線(黒)：各年の平均気温の基準値からの偏差、太線(青)：偏差の5年移動平均値、直線(赤)：長期変化傾向。  
基準値は1981～2010年の30年平均値。

出典：気象庁HP 各種データ・資料「世界の年平均気温」

## 猛暑日（最高気温が35℃以上の日）が増加

＜全国の猛暑日の年間日数の経年変化（1910～2020年）＞



※棒グラフ(緑)は各年の年間日数を示す(全国13地点における平均で1地点あたりの値)。太線(青)は5年移動平均値、直線(赤)は長期変化傾向(この期間の平均的な変化傾向)を示す。オレンジ色は毎年の値、緑色は5年移動平均値、赤色は長期に渡る変化傾向

出典：気象庁ウェブサイト「大雨や猛暑日など(極端現象)の長期変化」

# SDGs 持続可能な開発目標(17の目標 169のターゲット)

## 我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



誰一人取り残さない  
No one will be left behind

出典：国際連合広報局



# <衣>暮らしを支える繊維製品と生産地での課題

## <環境課題>

食料保障

健康被害

土壌の風化、劣化

水不足、水質汚染

借金問題

地球温暖化

種、生物多様性の損失



## <社会課題>

労働者の賃金

貧困

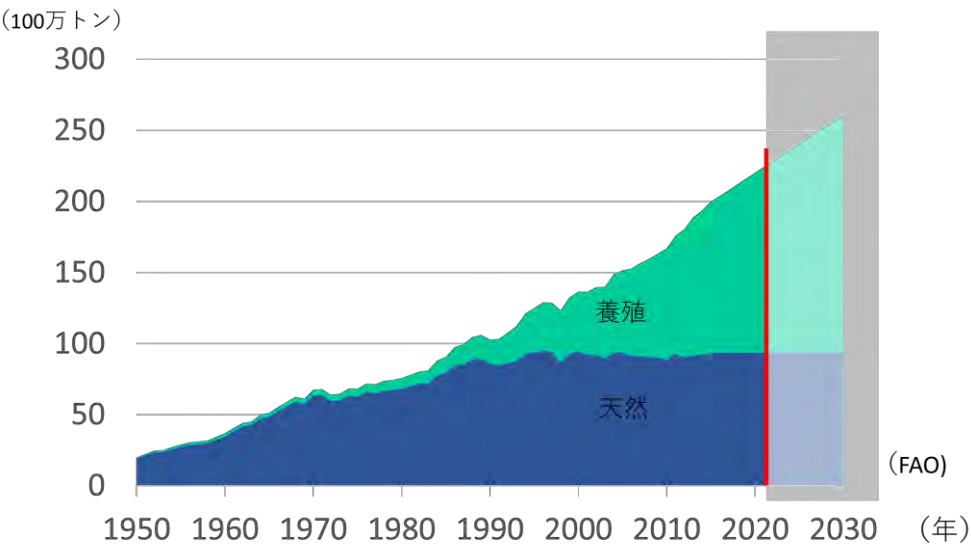
労働条件・労働環境

水汚染

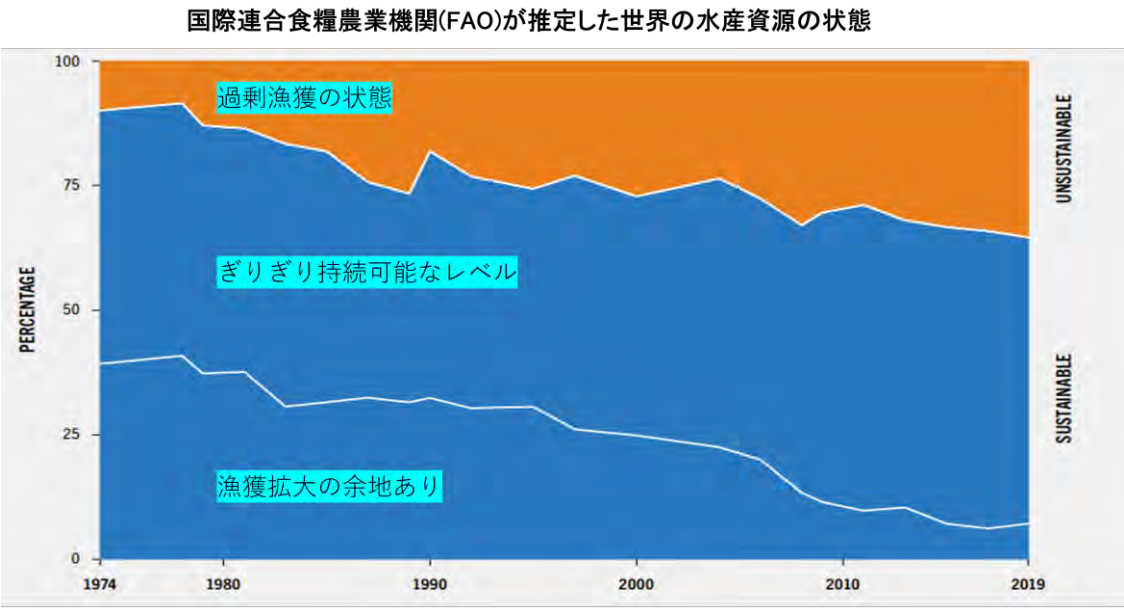
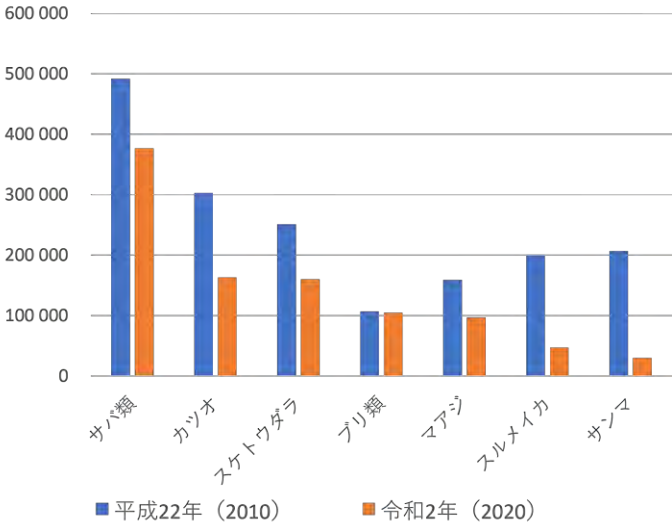
健康被害

児童労働

# <食> 水産資源の例（世界の水産生産量・水揚げ量・資源状態等）



主要魚種別 2010年と2020年の水揚げ量の比較



出典：令和元年、2年漁業・養殖業生産統計  
MSC/ASC資料他、編集抜粋

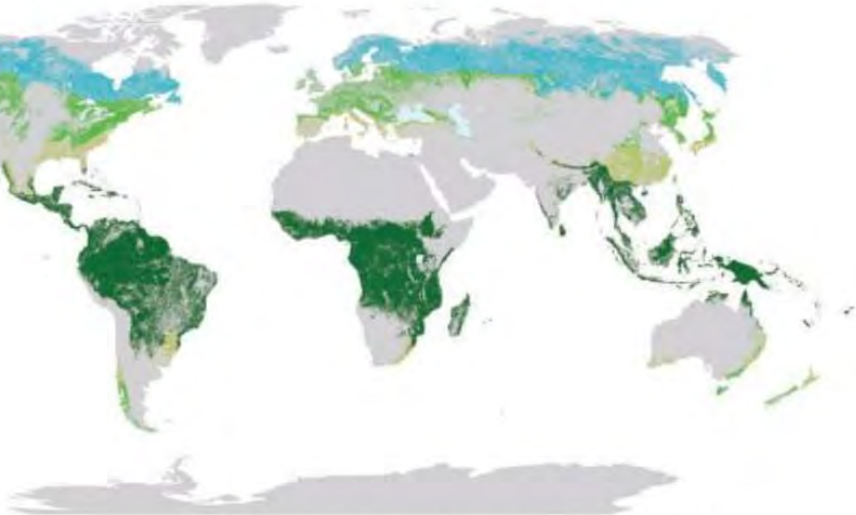
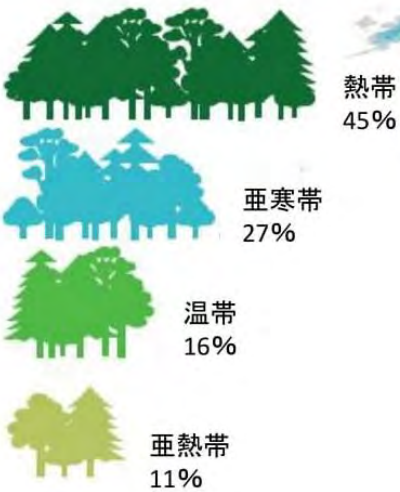


気候帯別の森林面積の割合と分布(2020年)



JAPAN  
SUSTAINABLE LABELS  
ASSOCIATION

<住>  
森林の減少  
と私たち



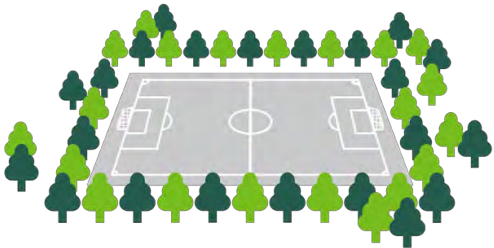
Source: Adapted from United Nations World map, 2020.

森林由来の木材・紙製品など

森林破壊  
生物多様性

気候危機への影響

2.2秒でサッカー場1面分

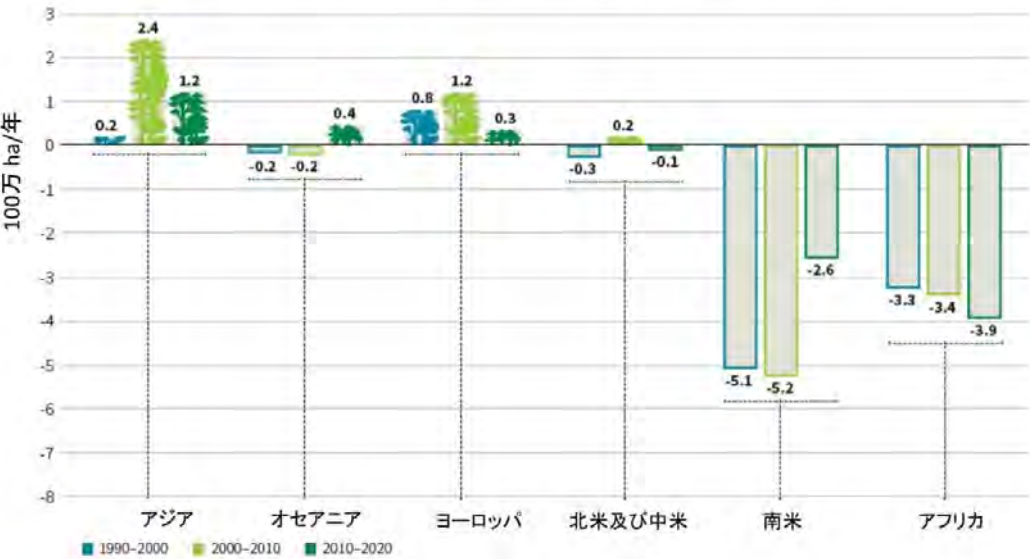


FAO World Forest Assessment 2020 より算出

森林破壊により、2015年から2020年の間に、  
平均年間1020万haの森林が減少。  
2.2秒ごとにサッカー場1面分の森林が消失。  
正味の森林面積も毎10年ごとに減少し続けている。

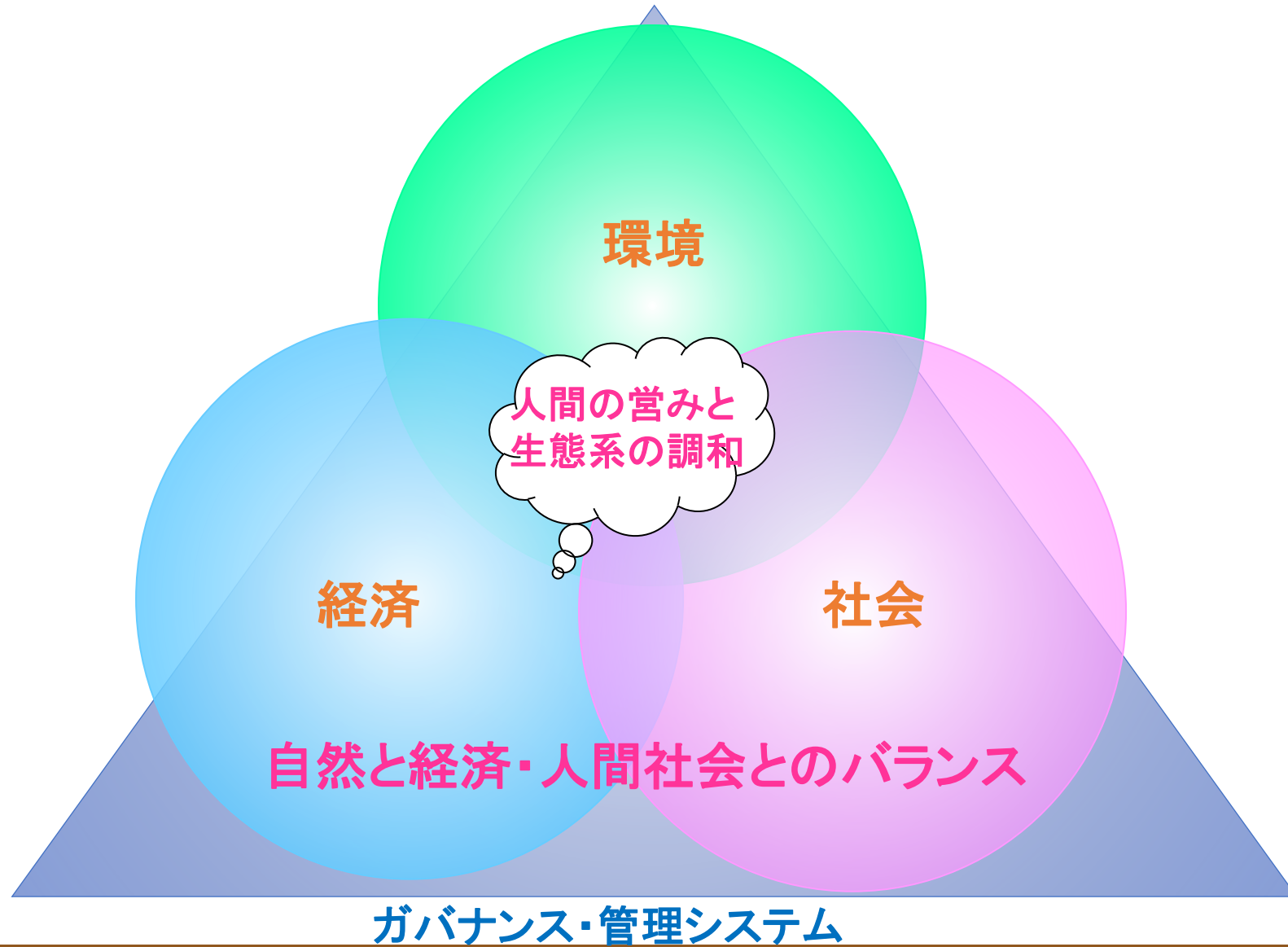
出典：FSCジャパン資料

10年ごとの地域別森林面積の年間純変化(1990年～2020年)



出典：FAO. 2020. Global Forest Resources Assessment 2020 – Key findings. Rome.





## エシカル消費の 様々な配慮の視点

人

環境

社会

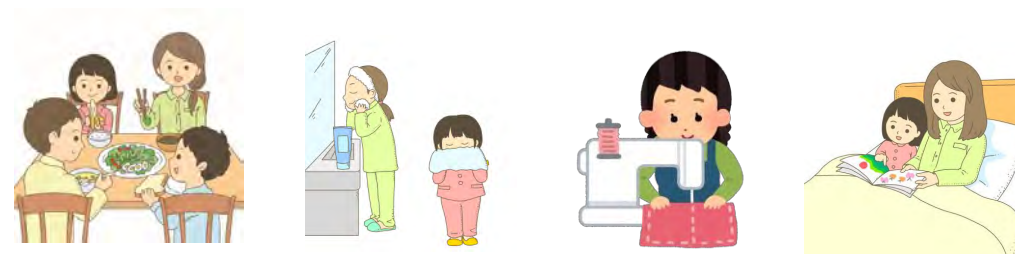
地域

動物福祉

エシカル (ethical)  
「倫理的」「道徳上」  
という意味の形容詞

「人や地域、社会、環境に配慮した  
行動や考え方」

エシカル消費とは、  
そのような配慮がなされた  
「モノやサービスを選んで消費すること」



人や地域、社会、環境などに配慮されたものを「選択」

エシカル消費 ⇒ サステナブル・ライフスタイル

## <人への配慮>

- ・生産者が、劣悪な環境で強制的に働かされていないか
- ・児童労働（子どもたちが労働を強いられていないか）
- ・十分な賃金が支払われているか

## <社会への配慮>

- ・適正な賃金を払い、社会問題を引き起こしていない商品
- ・フェアトレード製品
- ・寄付付きの製品やサービスを選ぶ
- ・障害者の方々がつくった製品を買う
- ・社会的責任のある投資や金融のあり方を見直す

## <環境への配慮>

- ・自然や環境、生態系にも配慮した製品
- ・リサイクルやリメイク、アップサイクルされたもの
- ・有機や自然栽培の農産物
- ・国産材利用
- ・生物多様性に配慮した製品（認証ラベル付き製品など）
- ・車や洋服などのシェアサービス（所有して捨てることを減らす）
- ・エコ・ビオホテル、サステナブルツーリズム
- ・自然・再生可能エネルギーへの転換や活用
- ・資源保護・生物多様性に関連する認証製品
- FSC®認証（森林認証）やMSC・ASC認証（漁業・養殖）など

## <地域への配慮>

- ・地産地消（地域でつくられたものを地域で消費）
- ・応援消費（被災地の商品を買ひ、地域を応援する消費）
- ・伝統工芸
- ・地域の雇用促進
- ・地元の商店街で買う（地域内での循環で、地域を元気に）

## <動物福祉>

- ・エコな代替素材への転換（毛皮・レザーをサステナブルファッションに）
- ・畜産での命の扱い、平飼い卵、ゲージフリーなどを選ぶ
- ・保護ペットの里親になる・動物の命への配慮

## ← エシカル消費の事例

### <JEIエシカル基準>

1. 自然環境を守っている
2. 人権を尊重している
3. 消費者を尊重している
4. 動物の福祉・権利を守っている
5. 製品・サービスの情報開示をしている
6. 事業を行っている地域社会に  
配慮・貢献している
7. 適正な経営を行っている
8. サプライヤーやステークホルダーと  
積極的に協働している



JEIエシカル基準を  
解説した書  
（エシカルバイブル）



## さまざまなサステナブル・ラベル



FSC®「責任ある森林管理のマーク」  
(FSC label)



レインフォレスト・アライアンス  
認証マーク (Rainforest Alliance  
Certified seal)



OCS  
(Organic Content Standard)



JAPAN  
SUSTAINABLE LABELS  
ASSOCIATION



MSC「海のエコラベル」  
(MSC ecolabel)



国際フェアトレード認証ラベル  
(FAIRTRADE Mark)



GOTS: オーガニックテキスタイル  
世界基準  
(Global Organic Textile Standard)



ASC 水産養殖管理協議会  
(Aquaculture Stewardship  
Council)

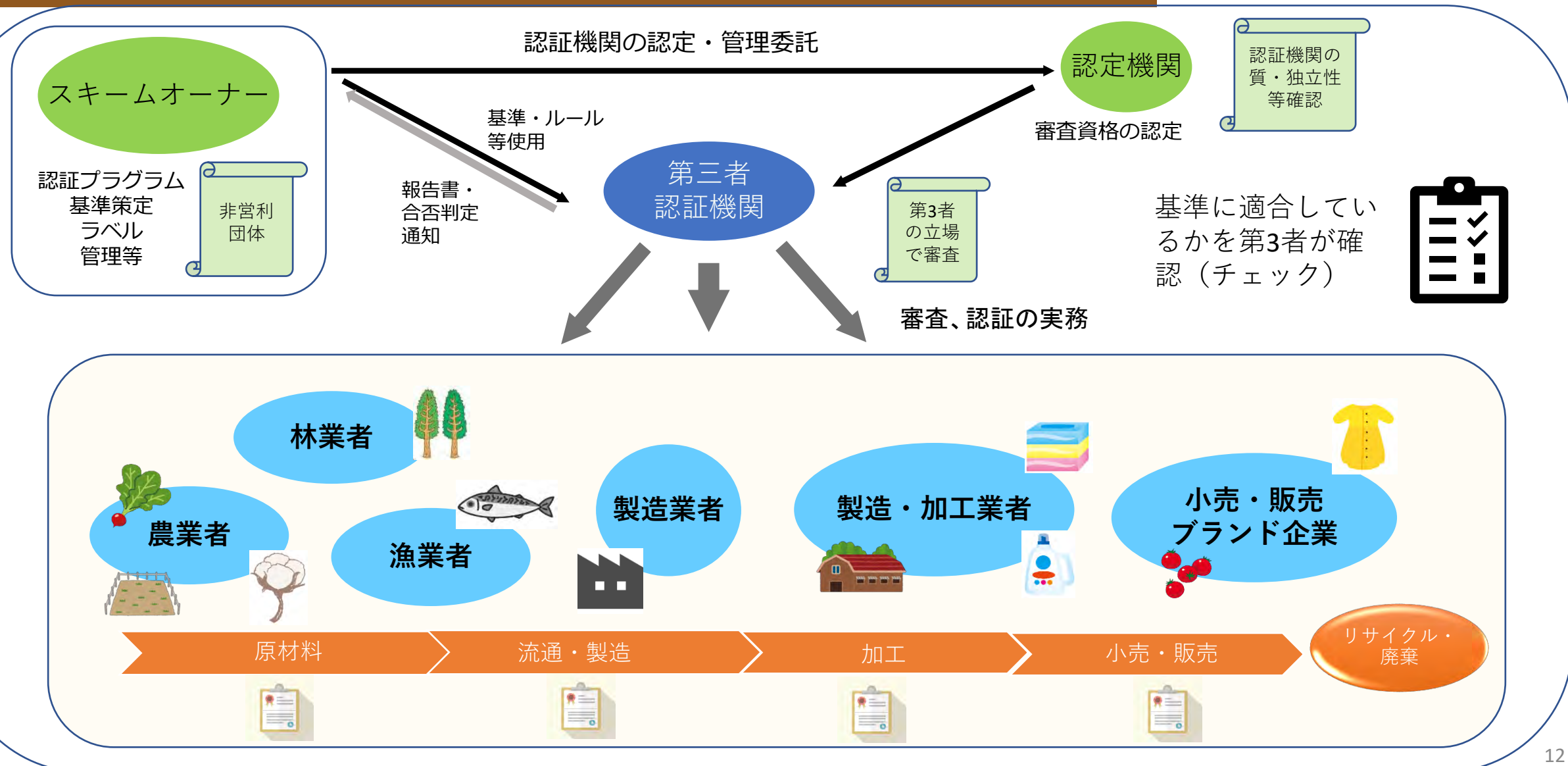


有機JAS  
(Organic JAS Logo)



RSPO: 持続可能なパーム油の  
ための円卓会議(Roundtable on  
Sustainable Palm Oil)

# サステナブル・ラベル（国際認証ラベル）の仕組み





生活の中の

# サステナブル・ラベルを みんなで探してみよう！

ラベル  
たくさんあるね！

このラベルは、  
原材料が取り続け  
られるように、  
地球環境や  
働く人のことを考え、  
産地や  
どこで製品がつくられたのか  
わかるものに付くんだって

わー！  
こうやって品物が  
運ばれてくるんだね

あそこにも  
ラベルがあるね！

ホントだ！

認証証！

認証証！

認証証！

認証証！

認証証！

認証証！

認証証！

認証証！

認証証！

認証証！



チェックしている人が  
いるね！

そうなんだ！  
あそこでチェックしてる人  
たちが、認証してラベルを  
つけることができるんだって

みなさん、こんにちは！  
日本サステナブル・  
ラベル協会の山口です

## 「買い物は未来への投票」

私たち日本サステナブル・ラベル協会は、サステナブル・ラベルを普及させることで、倫理的な生産・流通・消費を促進し、持続可能な社会の実現に貢献することを目的としています。

- みんな、朝起きてから寝るまでの間に、いろいろなものを使うよね。
- 顔を洗うせっけんや拭くタオル、食事に出てくるご飯、野菜や魚などの食べ物など、どんな場所から来たのか、誰がどうやって作っているのでしょうか。
- 学校や家で使う鉛筆やノート、本などもどこかの森の木を使っていますが、そこにすむ動植物や製品を作っている人々もみんなが幸せて、地球環境も守ってほしい。サステナブル・ラベルの付いた製品は、

しっかり環境や社会、経済のことを考えてできているのか、みんなの代わりに専門家が産地や工場などをチェック（審査）しています。そして、基準を満たしていれば、認証されて、ラベルが付くという仕組み。みんながラベルを見つけて、選ぶことで、サステナブルな社会に一歩近づけます！

一般社団法人  
日本サステナブル・ラベル協会



## さまざまなサステナブル・ラベル



FSC®  
「責任ある森林管理のマーク」  
(FSC label)



レインフォレスト・  
アライアンス認証マーク  
(Rainforest Alliance Certified seal)



OCS  
(Organic Content Standard)



MSC「海のエコラベル」  
(MSC ecolabel)



国際フェアトレード  
認証ラベル  
(FAIRTRADE Mark)



GOTS  
オーガニックテキスタイル世界基準  
(Global Organic Textile Standard)



ASC  
水産資源管理協議会  
(Aquaculture Stewardship Council)



有機 JAS  
(Organic JAS Logo)



RSPO  
持続可能なパーム油のための円卓会議  
(Roundtable on Sustainable Palm Oil)

地球や生き物などを守る  
いろいろな国際認証ラベルを  
「サステナブル・ラベル」と呼んでいます。

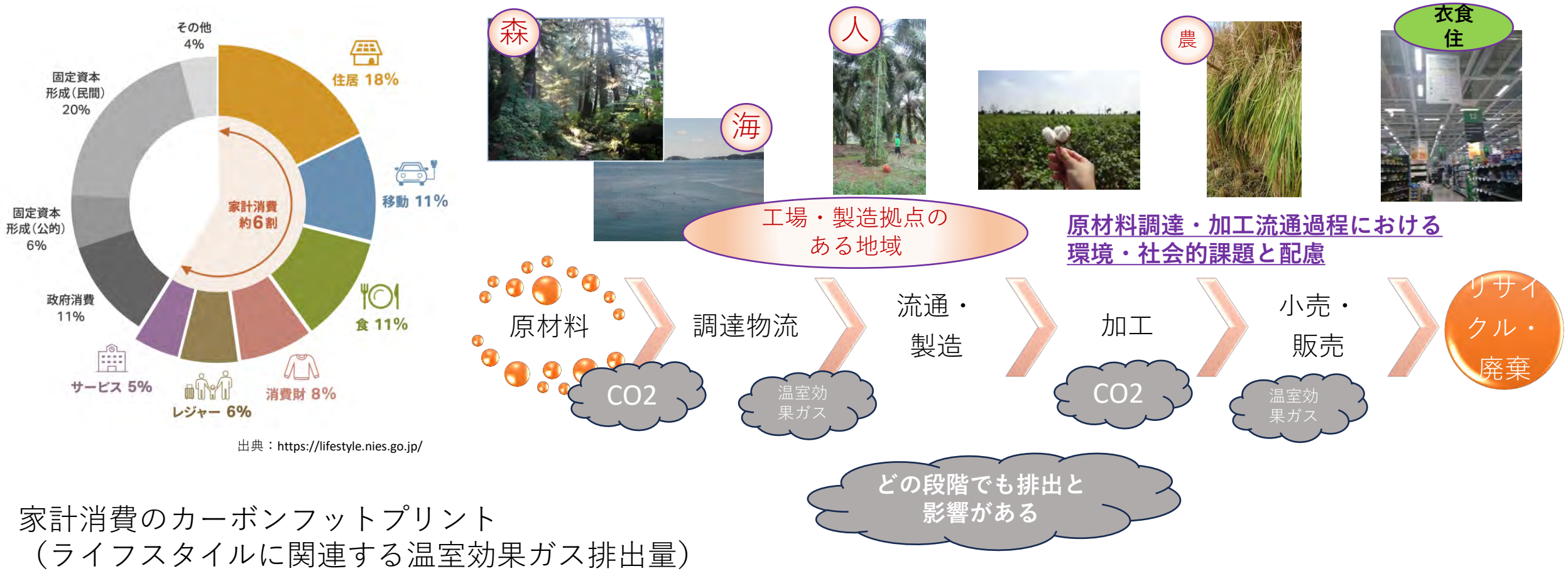
## SDGs本

だれひとり置き去りにしない





# 生産・消費の影響（ライフサイクルと脱炭素化に向けて）



家計消費のカーボンフットプリント  
(ライフスタイルに関連する温室効果ガス排出量)

製品が製造され、消費し、廃棄に至るまで  
ライフサイクル全体で排出される温室効果ガスの影響を考える

# グリーンウォッシュの課題

## グリーンウォッシング (green washing)

故意に実態以上に見せかけること

- ・ 環境意識の高い顧客へアプローチするための誇大広告、虚偽のラベリング
- ・ “自然”と関係なく“グリーン”という用語を使用
- ・ 根拠を欠いた環境配慮型の取り組みや広報

< 主要課題 > 信頼性の欠如

< 要因 >

- ・ 広報活動自体が目的化してしまっている
- ・ 短期的な経済的利益を追求している
- ・ 自然環境への貢献度・寄与状況が不明瞭
- ・ バリューチェーンと環境活動とを個別に据える等、統合的な視点が不足している
- ・ 明確なルール、規制等がないことにより、独自の解釈、誇張や隠蔽を許している
- ・ ファクトチェック等をせず、安易に鵜呑みにしてしまう、受け手側のメディアリテラシーの不足



Stopping greenwashing:  
how the EU regulates green claims

出典: [Stopping greenwashing: how the EU regulates green claims | Topics | European Parliament \(europa.eu\)](https://www.european-council.europa.eu/media/1000000000/1/related_content/eu-regulates-green-claims-topics)

[https://www.iucn.jp/explanation/green\\_washing/](https://www.iucn.jp/explanation/green_washing/)

# 新たな生産と消費を考える

## ライフサイクルアセスメント（Life Cycle Assessment）

商品やサービスの原料調達から、生産・流通、さらには廃棄・リサイクルに至るまでの一連のライフサイクルにおける環境負荷を、定量的に算定するための手法。

### サーキュラー・エコノミー（CE）とは

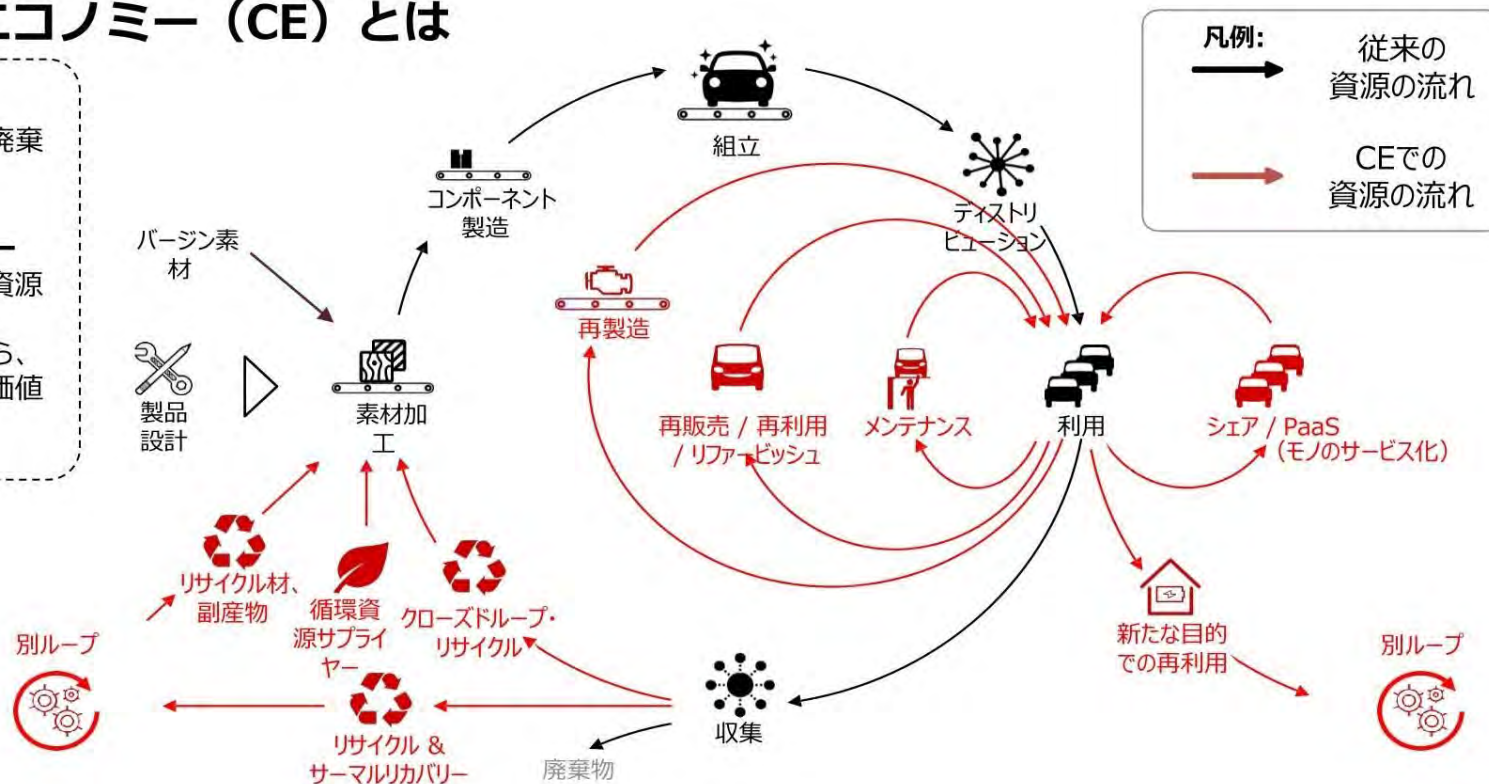
#### 線形経済

大量生産・大量消費・大量廃棄  
の一方通行の経済活動

#### サーキュラー・エコノミー

従来の3Rの取組に加え、資源  
投入量・消費量を抑えつつ、  
ストックを有効活用しながら、  
サービス化等を通じて付加価値  
を生み出す経済活動

俯瞰した視点





# 選択の基準 買い物は未来への投票

買い物は  
未来への  
投票です

日々の中で何気なく買っているものを  
サステナブル・ラベルで選ぶ。

サステナブル・ラベルとは、持続可能な原材料  
調達や環境・社会的配慮につながる、さまざま  
な国際認証ラベルをより多くの方に知ってい  
ただくために、当協会が命名した総称です。

一般社団法人 日本サステナブル・ラベル協会  
(JSL) は、サステナブル・ラベルを普及させ  
ることで、倫理的な生産・流通・消費を促進し、  
持続可能な社会の実現に貢献することを目的  
としています。

何を基準に選んでいますか？

あまり考えずに  
なんとなく選んでいる

見た目だけ 価格だけ 量だけ

調達・生産方法などが  
見えないモノたち

環境破壊・労働環境悪化

持続不可能な社会

サステナブル・ラベルで  
Check & Choice !!

どこで だれが 何を使って

どのようにつくられたのか  
ストーリーのあるモノたち

環境保全・労働環境改善

持続可能な社会

あなたは、どちらの未来を選びますか？

## 企業・各国での調達・DD・可視化

調達方針：

上場企業の調達方針

(持続可能な責任ある調達の方針・  
基準・ガイドライン等)

国際イベント (オリパラ・万博等)  
飲食業・ホテルチェーン・観光業等

国際的な法規制での動き

(人権DD, EU他、  
各国で進むデューデリジェンス法)

サステナブル調達を  
成功させるための  
国際認証  
の教科書

国際認証  
の教科書

上場企業から中小企業まで  
1000社  
をみてわかった  
次世代調達のベストプラクティス  
山口真奈美 著

「サステナブル調達を  
成功させるための  
『国際認証の教科書』  
(山口真奈美著)

# サステナブルな選択の視点

企業

ゼロカーボンに向けて、サステナブル視点で考えてみる

企業

製造・販売しない方がいい製品は？

製造・販売した方がいい製品は？

- ・
- ・
- ・

例えば・・・

人権侵害  
劣悪な労働環境や条件  
環境破壊・環境負荷が高い  
サプライチェーンが不明

- ・
- ・
- ・

例えば・・・

サステナブルな生産をしているか

人権  
環境  
地域社会

- ・
- ・
- ・

例えば・・・

生産者支援・障害福祉・  
環境配慮・脱炭素に向けた見える化  
サステナブル経営の実践  
人権の尊重  
サプライチェーンが明確

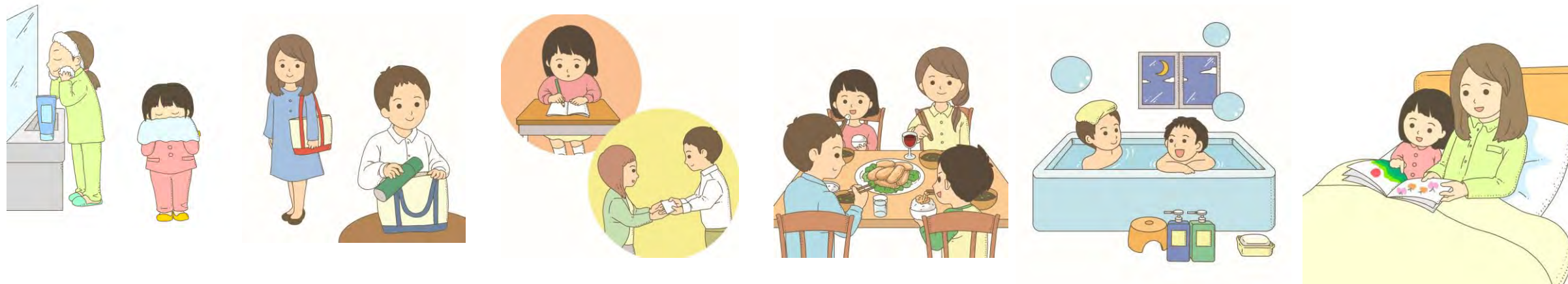
消費者

選べない方がいい製品

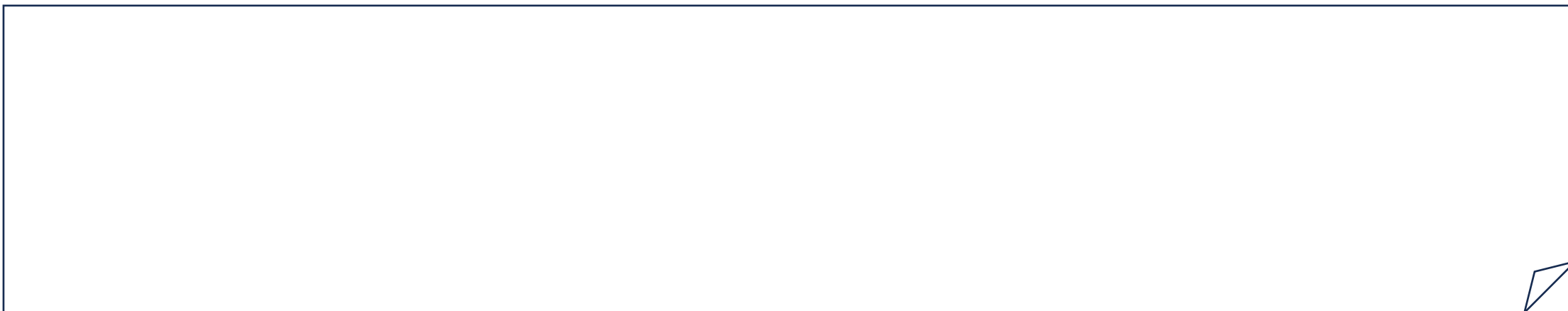
消費者

選んだ方がいい製品

あなたの選択の基準を考えてみませんか？



【消費と私たちの選択：サステナブル・ライフスタイルに繋がるもの】





# ご清聴ありがとうございました

山口真奈美

ご意見は下記へお寄せください  
[manami@jsl.life](mailto:manami@jsl.life)

日本サステナブル・ラベル協会（JSL）担当：中嶋

〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング21階

TEL : 03-5403-6550

E-mail : [info@jsl.life](mailto:info@jsl.life)

URL : <https://www.jsl.life/>

このプレゼンテーション文書の著作権は、一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会（代表理事：山口真奈美）もしくは引用元の組織等に 있습니다。  
事前の書面での許可なく、あらゆる形での複写、再利用、再配布、放送等は禁じられています。

万全の注意を払って作成していますが、内容の正確性等について保証するものではありません。